

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社高見澤					
代表者名	氏名	高見澤 秀茂	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野市大字鶴賀字苗間平1605番地14					
主たる事業の分類	大分類	D 建設業				
	中分類	0600				
主たる事業の概要	1. コンクリート二次製品、生コン、砂利・砂の製造販売、セメント他建設資材の販売 2. 石油製品の販売、自動車の販売・整備 3. 土木建築請負、建築工事 4. 貨物自動車運送、一般廃棄物・産業廃棄物の処理処分、建造物の解体工事とその収集運搬事業、青果物の販売、肥料の販売、食品加工・販売、コーンコブの輸入販売、不動産売買・媒介及び管理、損害保険代理業務、ゴルフ練習場の経営、ミネラルウォーターの製造販売（クリクラ）、チーズ類の加工及び菓子類の製造販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1670	1620	1662	1588	1490
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3759	3646	3744	3577	3381
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0	0	0	0	0
自動車の台数	台	301	301	301	311	311
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	2842	2756	2757	2622	1889

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 31 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

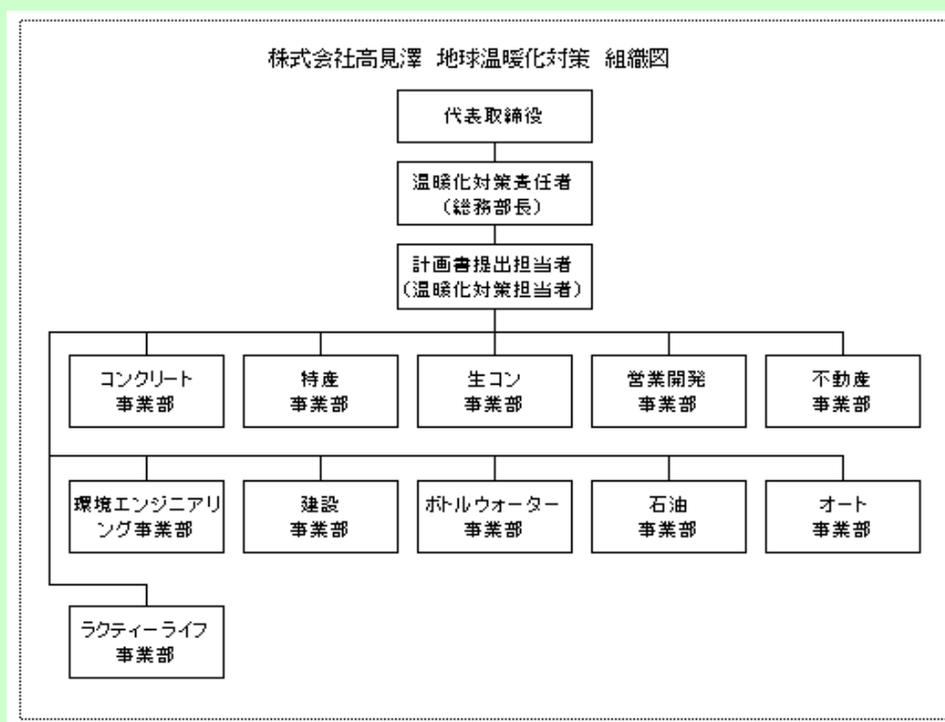
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	https://www.kk-takamisawa.co.jp/pdf/ondankataisaku.pdf
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エコアクション2.1に基付き、環境対策に配慮した事業を展開する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネ委員会
年1回

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,759	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
28年度	調整後排出量	3,742	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	3,646	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		3
目標設定に関する説明	3年間で3%の抑制目標を達成するとともに、ピークカットの取り組みを進める。						※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。	
第一年度	排出量	3,744	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	3,724	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	0.39	%	削減率		%		0.3
排出量等の増減理由	生産数量の減少により排出量が減少した。							
第二年度	排出量	3,577	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	3,563	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	4.84	%	削減率		%		5.1
排出量等の増減理由	業種によっては生産数量が増加したが、事務所系のエネルギー使用量がほぼ横ばいのためトータルでは排出量が減少した。							
第三年度	排出量	3,381	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	3,363	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	10.05	%	削減率		%		7
目標の達成状況及び排出量の増減理由	台風の影響で余儀なく操業停止となり、排出量が削減した。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂		単位	
28年度	調整後排出量	0	t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率	%	
目標設定に関する説明						※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂		単位	
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率	%	
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂		単位	
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率	%	
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂		単位	
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率	%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	2842	t-CO ₂			
28年度						
目標年度	目標排出量	2756	t-CO ₂	削減率	3.02	%
31年度						
目標設定に関する説明	3年間で3%の抑制目標を達成する。					
第一年度	排出量	2757	t-CO ₂	削減率	2.99	%
29年度						
排出量等の増減理由	エコドライブを推奨					
第二年度	排出量	2622	t-CO ₂	削減率	7.74	%
30年度						
排出量等の増減理由	スロースタートを推奨した					
第三年度	排出量	1889	t-CO ₂	削減率	33.53	%
31年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	運転時間の減少					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握	実施済	第一年度	実施済	実施済	実施済	
	2	エコドライブの励行	実施済	第一年度	実施済	実施済	実施済	
III、IV	—	次世代自動車の導入	実施中	第一年度	実施中	実施中	実施済	

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	自動車	その他 次世代車の導入	29	10	30	10
2	エネ起	380752 LEDの導入			30	10
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	1527	0	1527	1527	1527

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	17		20	14	18
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500kl以上 3,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500kl未満	35	3,759	35	3,744	35	3,577	34	3,381
合計	35	3,759	35	3,744	35	3,577	34	3,381

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	7	7	15	15
合計	7	7	15	15
自動車総数	301	301	311	311
次世代車導入割合	2.3	2.3	4.8	4.8

様式1号
(総括票)

14 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	「特に無し」
その他	「特に無し」

15 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	「特に無し」
公共交通機関の利用促進	郊外にある事業所ではマイカー通勤が主であるが、市街地にある本社では公共交通機関での通勤を推奨している。(本社の公共交通機関通勤率は42%である)
来客者の交通対策	「特に無し」
物流の合理化	「特に無し」

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001:2004	2003年
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	社員に対し、買い物の際、マイバックの持参を推奨している。
第一年度実績	省エネ型機器への設備更新を実施。
第二年度実績	省エネ型機器への設備更新を実施。
第三年度実績	環境に配慮した製品の導入

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	・高圧受電の事業場は全てデマンド監視装置を導入済み。	20
その他	「特に無し」	